



フロント メザニン モジュールの取り付け

この章は次のトピックで構成されています。

- [フロント メザニンをインストールと取り外し](#) (1 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの構成](#) (8 ページ)

フロント メザニンをインストールと取り外し

フロント メザニン モジュールは、Cisco UCS X シリーズ コンピューティング ノードのフロント メザニン スロットに取り付けます。その場合は、次のトピックを参照してください：

- [必要な工具](#) (1 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り付け](#) (6 ページ)
- [フロント メザニン モジュールの取り外し](#) (3 ページ)

必要な工具

Cisco UCS XE3.S フロント メザニン モジュールを取り付けるために必要な特別なキットはありません。ただし、次の項目がインストール中にあることを確認してください：

- フロント メザニンには以下が含まれます：
 - 最大 9 台の E3.S ドライブをサポートするドライブ ケージ。
 - フィラー ブランク。



(注) 1 つの E3.S ドライブを Cisco UCS X10c フロント メザニン E3.S モジュールで注文すると未使用の E3.S スロットは、フィラー ブランクで事前入力されています。追加のフィラー ブランクはCisco (UCSC-E3S1T-F) から購入できます。

E3.S モジュールの取り付けまたは取り外しには、Cisco が提供していない次の追加機器が必要です。

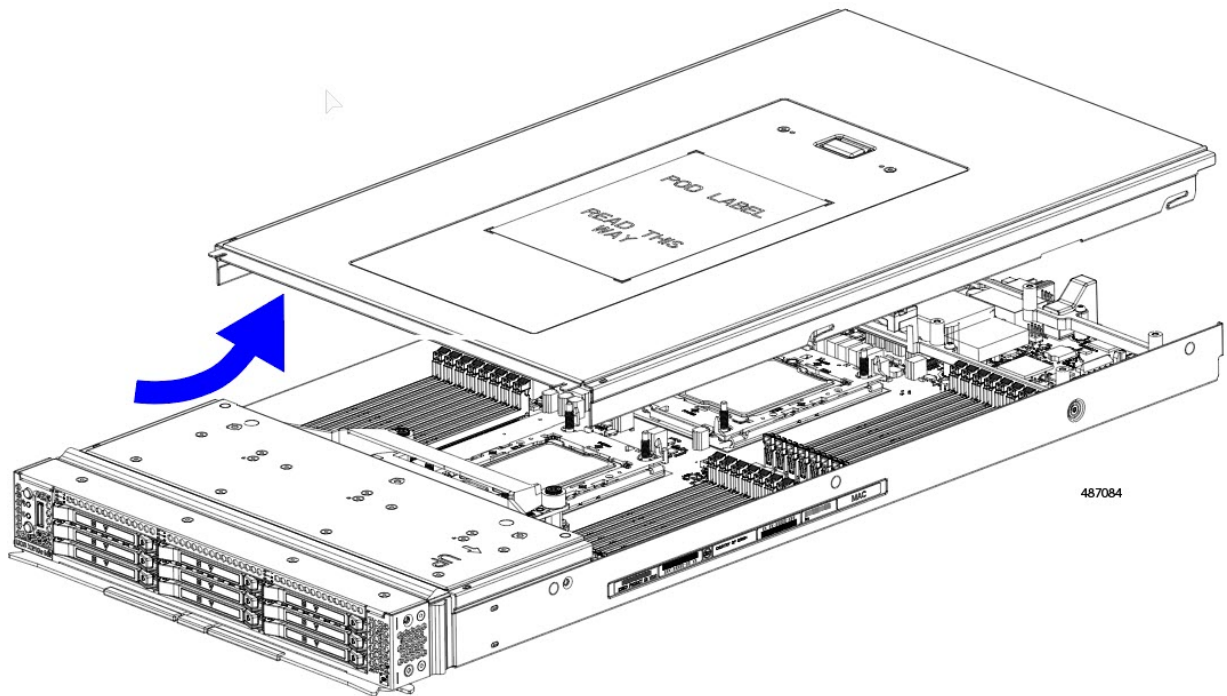
- T8 トルクスドライバ
- #2 プラス ドライバ
- トルク ドライバ

コンピューティングノードカバーの取り外し

コンピューティング ノードのカバーを取り外すには、次のステップに従います。

手順

ステップ 1 次の図に示すようにボタンを押し続けます。



ステップ 2 カバーの後ろの端をつかんでカバーを後方に引き、コンピューティング ノードから上部カバーを引き上げます。

カバーを後方にスライドさせると、前面メザニンモジュールの背面にある金属製の縁が前面エッジから外れるようになります。

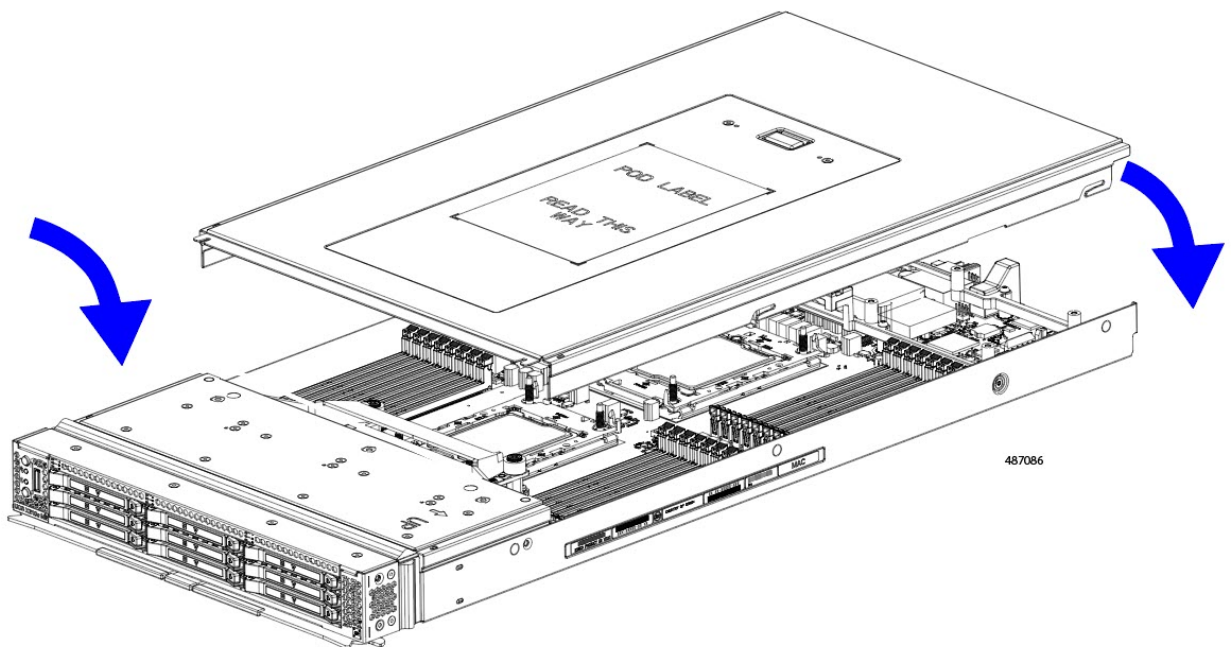
コンピューティングノードカバーの取り付け

コンピューティング ノードの取り外した上部カバーを取り付けるには、次の作業を実行します。

手順

ステップ1 トップカバー後部の切り欠きに注目してください。

これらの切り欠きは、コンピューティング ノードのストッパー ピンを受けます。



ステップ2 背面を下に傾けた状態で上部カバーを持ち、コンピューティング ノードの上を下ろします。

ステップ3 コンピューティング ノードのカバーをストッパー ピンに当たるまでスライドさせます。

ステップ4 上部カバーの前面をコンピューティング ノードに下ろします。

ステップ5 コンピューティングノードのカバーを平らにしたまま、リリースボタンがカチッと音がするまで前方にスライドさせます。

フロント メザニン モジュールの取り外し

既存のフロント メザニン モジュールを取り外すには、コンピューティング ノードの板金トレイの側面とノードのマザーボードにあるネジを外します。



注意 フロントメザニンモジュールが取り付けられていない状態でコンピューティングノードを動作させないでください。

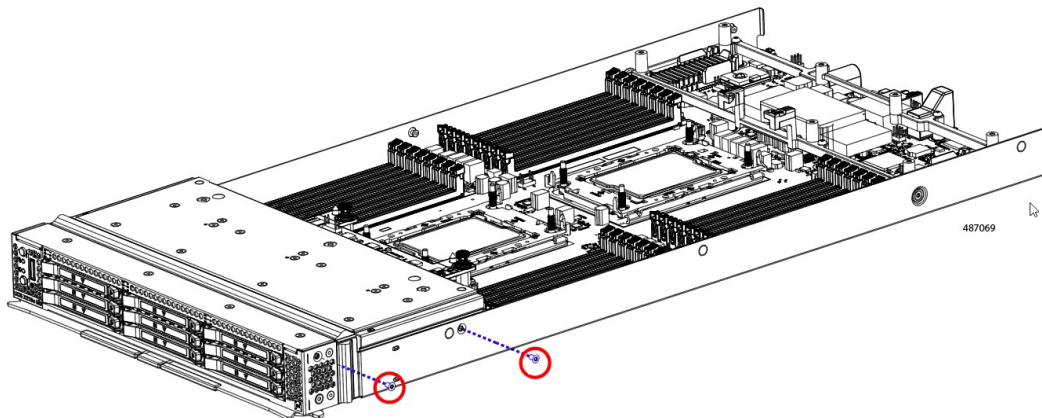
フロントメザニンモジュールを取り外すには、次の手順を実行します。

始める前に

このタスクを実行するには、コンピューティングノードはシャーシから取り外す必要があります。

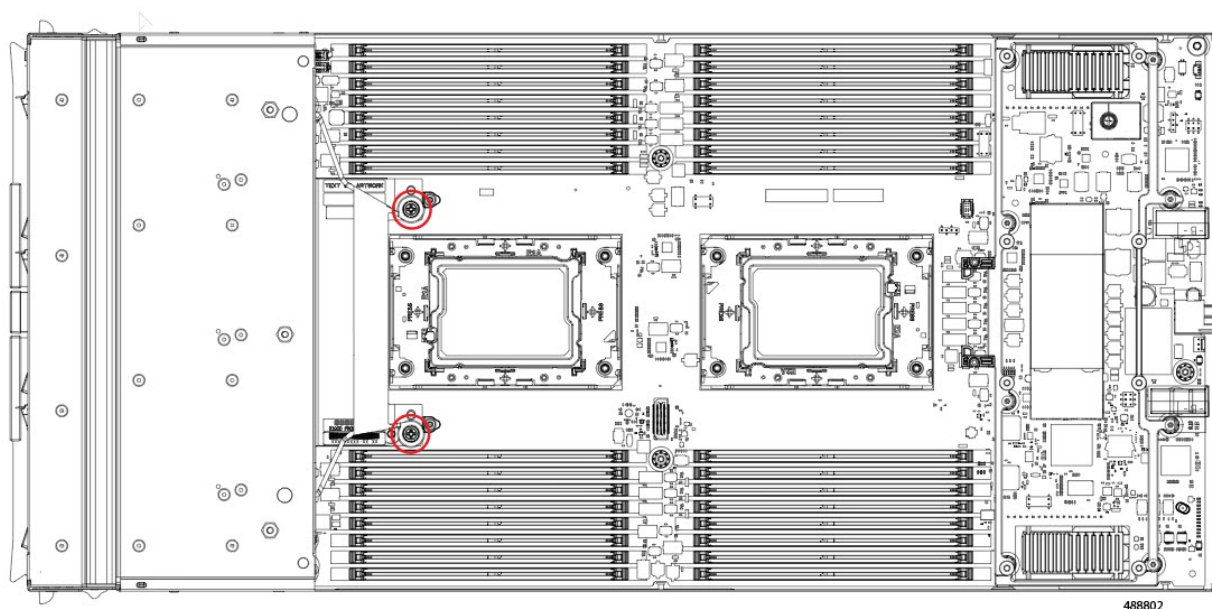
手順

ステップ1 コンピューティングノードの上部カバーを外します。「[コンピューティングノードカバーの取り外し \(2ページ\)](#)」を参照してください。

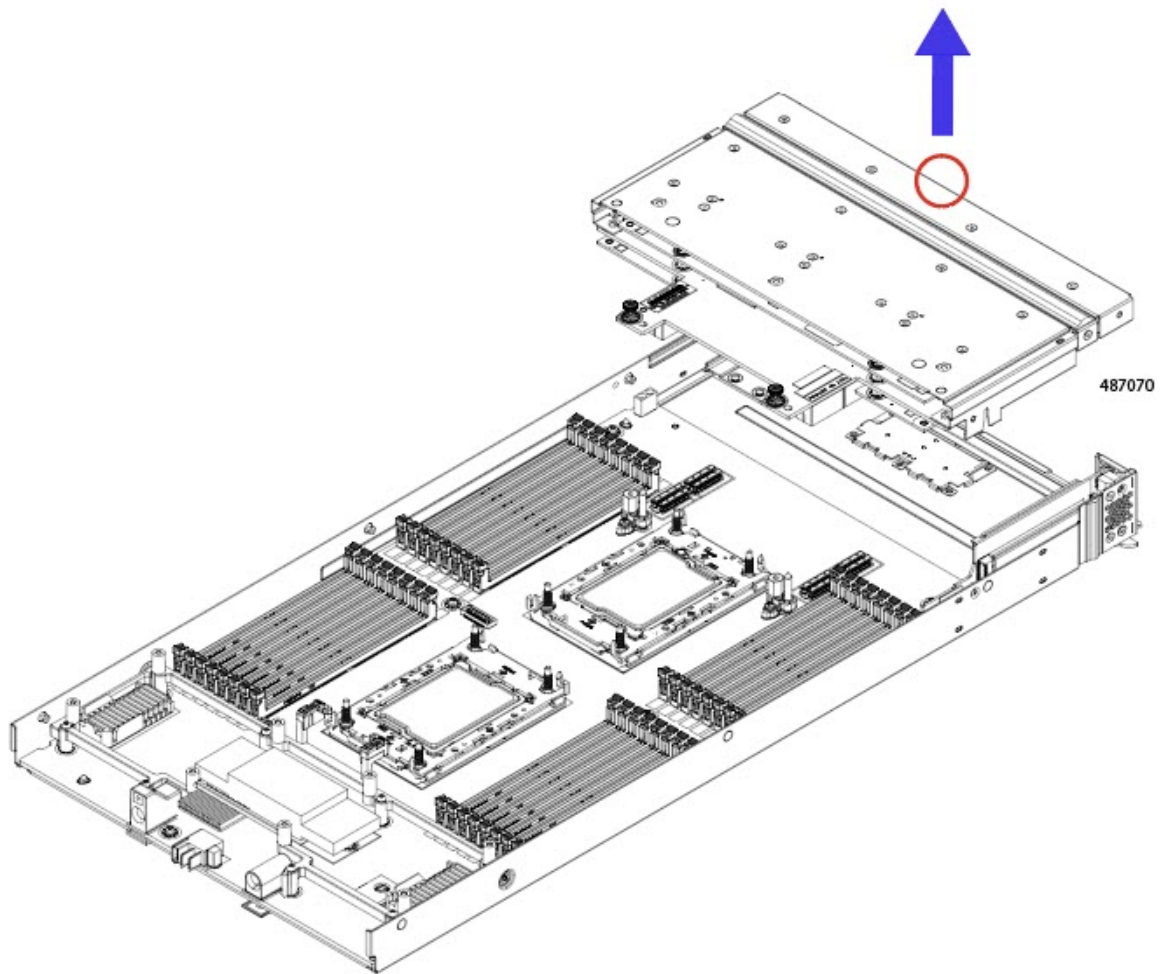


ステップ2 ネジを取り外します。

- a) T8 トルクス ドライバを使用して、4 本の T8 フラット ヘッド ネジを各側面に 2 本ずつ取り外します。
- b) #2 プラスドライバを使用して、フロントメザニンモジュールの背面にある 2 つの非脱落型ネジを緩めます。



ステップ3 前面上部の中央でフロント メザニン モジュールをつかみ、フロント メザニン モジュールをまっすぐ上に持ち上げて、コンピューティング ノードから取り外します。



次のタスク

フロントメザニンE3.Sドライブモジュールをコンピューティングノードに固定します。「[フロントメザニンモジュールの取り付け（6ページ）](#)」を参照してください。

フロントメザニンモジュールの取り付け

フロントメザニンモジュールを取り付けるには、コンピューティングノードの板金トレイの側面とノードのマザーボードにネジを挿入します。

フロントメザニンモジュールを取り付けるには、次の手順を使用します。

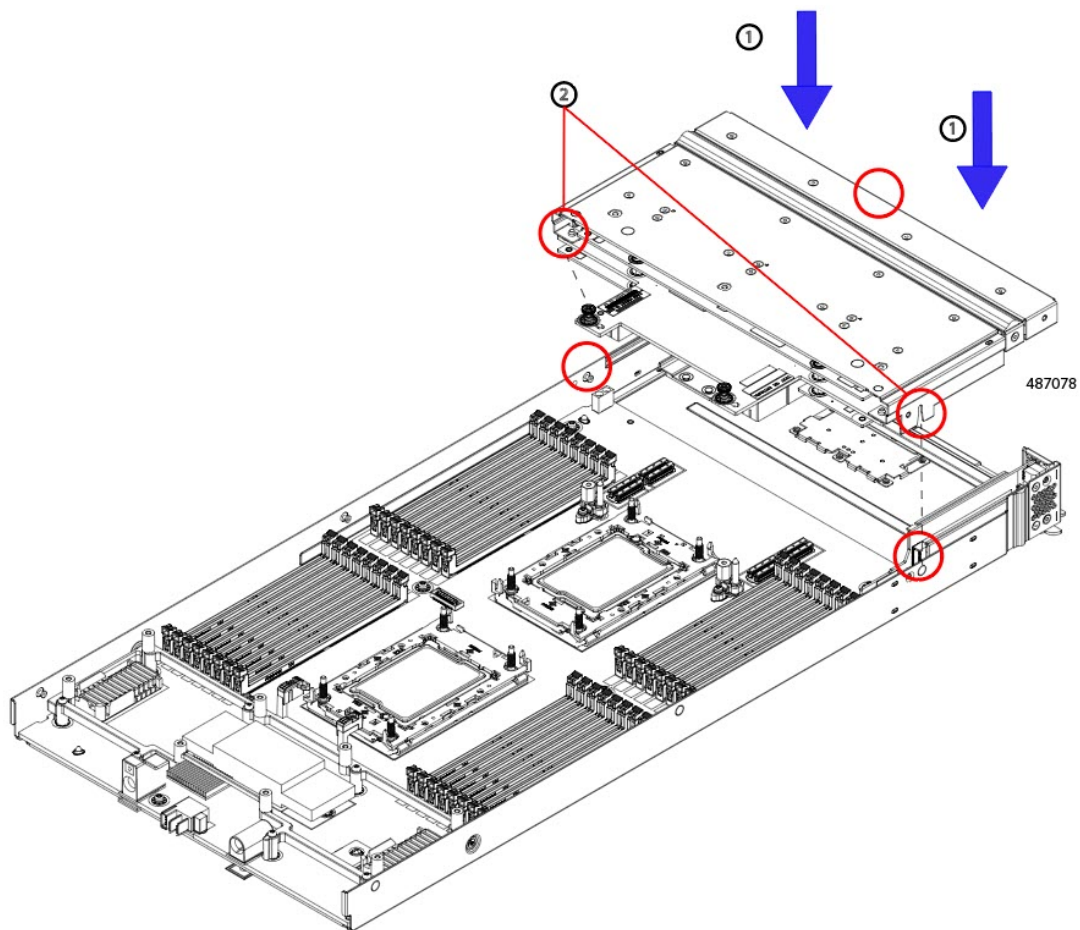
手順

ステップ1 フロントメザニンモジュールの上端の中央を持ち、モジュールを水平に保ち、コンピューティングノードの上に下ろします(1)。

ステップ2 背面の脱落型ネジをネジ式スタンドオフ(2)に合わせます。

(注)

フロントメザニンとコンピューティングノードの側面には、コンピューティングノードへのモジュールの取り付けを支援するガイドピンがあります。モジュールを取り付ける際は、これらのガイドピンを使用します。



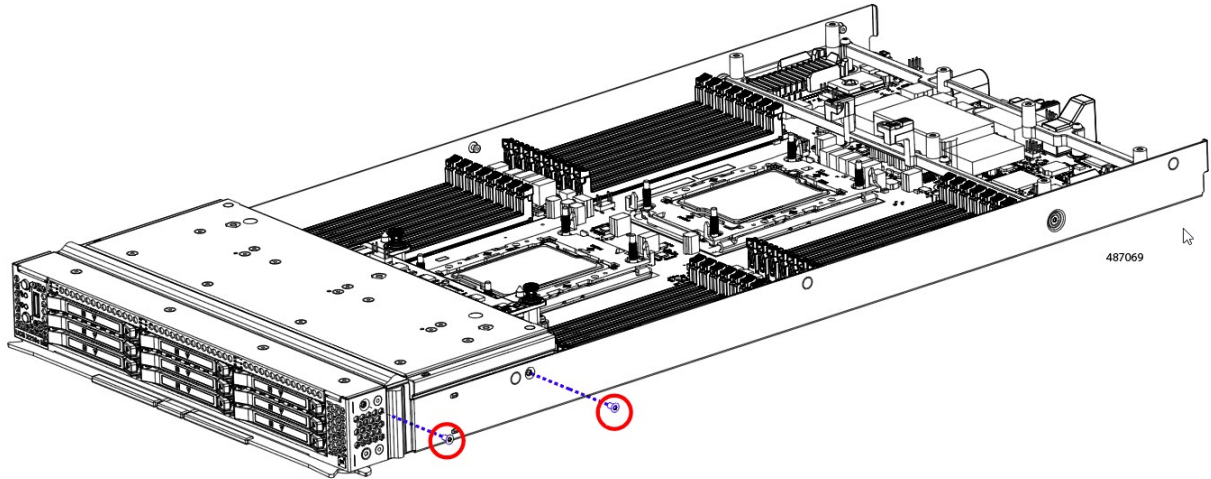
ステップ3 モジュールを均等に押し下げて、モジュールのコネクタをフロントメザニンとコンピューティングノードの側面のソケットに固定します。

ステップ4 プラスドライバーとトルクスドライバーを使用して、2つの背面の非脱落型ネジを 5 in-lb のトルクで締めます。

警告

背面の非脱落型ネジを締めすぎないようにしてください。

ステップ 5 T8 トルクス ドライバを使用して、コンピューティング ノードの側面にある 4 本の T8 平頭ネジ（側面ごとに 2 本のネジ）を締めて、モジュールをコンピューティング ノードに固定します。



ステップ 6 コンピューティング ノードの上部カバーを元に戻し、コンピューティング ノードをシャーシに再取り付けします。

「[コンピューティングノードカバーの取り付け（3 ページ）](#)」を参照してください。

フロントメザニンモジュールの構成

Cisco UCS X10c フロントメザニンモジュールは、Intersight 管理モード（Cisco Intersight 管理モード）の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して構成し、管理できます。詳細については、*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide* を参照してください。次の URL：[Cisco Intersight 管理対象モード構成ガイド](#)にあります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。